

はまぼうふう vol.4 2001. 7. 23.

石狩浜海浜植物保護センター通信

暑い日ざしが砂浜に照りつける季節。植物たちの中には、葉を黄色く枯らし、姿を消してゆくものも出てきます。しかし、これらすべてが枯れてしまったわけではありません。地中にしっかり根を張っている植物たちは、砂の中で生き続け、秋に再び青々と葉を広げるのです。砂浜で生きる植物たちにとって、根っこの張りは生死を分ける命づな。

砂の中に張りめぐらされた海浜植物の根の網を想像してみましょう。植物たちの根が骨組みのような役割を果たし、砂丘の形を支えている、そんな光景が浮かんできませんか？



灯台をバックに群生するハマボウフウ

8月の開花情報

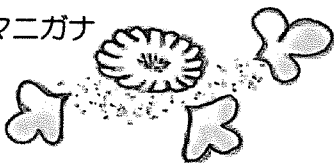
種類	生育場所	時期				
		7		8		9
		下	上	中	下	上
ハマナス花	砂/草	■■■■■				
ハマナス実	砂/草	■■■■■				
ハマエンドウ	砂/草	■■■■■				
ハマボウフウ	砂	■				
ハマニガナ	砂	■■■■■				
ウンラン	砂			■■■■■		
オカヒジキ	砂				■■■■■	

種類	生育場所	時期				
		7		8		9
		下	上	中	下	上
IZ' カラゲ' ヲ	草/湿	■■■■■				
タチギボウシ	湿	■■■■■				
ノコギリソウ	草/湿	■■■■■		■		
ヒロハクサフジ	草/湿	■■■■■				
クサレダマ	湿	■■■■■		■		
ガボ' ヲ' ヲ' ヲ'	湿		■■■■■			■
コガネギク	草/湿				■■■■■	

※ ■■■■■ が開花期間を示します。目安として御覧下さい。

生育場所：砂；砂丘前方（海より）の砂地 草；海岸草原 湿；はまなすの丘湿地

ハマニガナ



ウンラン



お知らせ

通信「はまぼうふう」って？

はまぼうふうは年に3回（5・7・9月）に発行される、石狩浜海浜植物保護センターの情報誌です。開花情報や石狩浜の生きものたちの紹介、センターの活動状況などを掲載し、石狩市内および札幌市の一部の施設で配布しています。石狩浜を訪れて感じたこと、様々な思いをつづったメッセージ、エッセイなど、提供いただける方は、海浜植物保護センターまでご連絡ください（連絡先は巻末）

砂丘で生きる—カシワ林の宝石たち—

石狩浜の豊かな自然は、石狩川河口の海浜植物の群生地がなじみ深く、訪れるほとんどの人は、ここの自然に満足して行きます。しかし、石狩浜の自然は、まだまだ隠れた魅力を持っています。海浜植物の花の美しさや渚の風景に多くの人の目が集まる中、砂丘の背後に広がるカシワ林に宝石を見つけ、分け入る人たちがいるのです。さて、カシワ林の宝石とは・・・。

石狩浜にカシワ林？

手稲山の上から、石狩湾を見下ろすと、海岸線に沿って連なる濃い緑色の帯を目にするでしょう。海岸を訪れる人たちは、手稲街道から小樽ドリームビーチへ、または国道231号線から石狩湾新港へ向かう途中、道路両側に林が出てくことに気がつくことと思います。(石狩浜海水浴場へ向かう道からは、この林を目にすることはありません。)

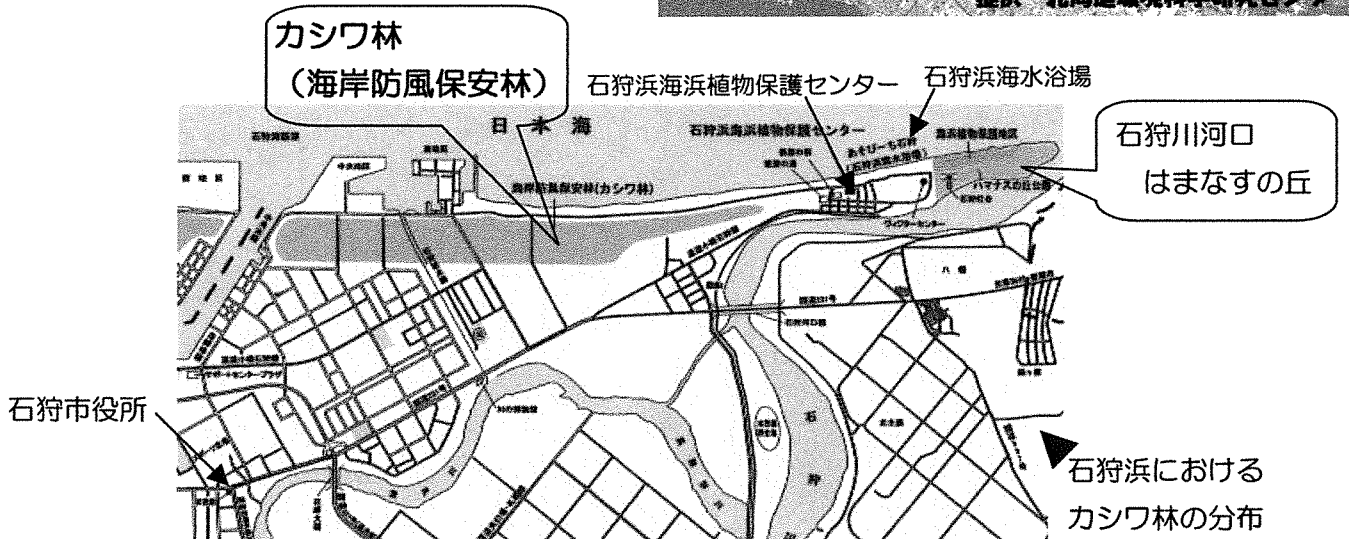
この林が、宝石が舞う石狩海岸のカシワ林。石狩平野を日本海の強風から守るため、開拓時代から先人たちが伐採を禁止して守り、今日まで天然の状態に残されてきた林なのです。小樽市銭函から(石狩湾新港で一部途絶えますが、)石狩川をはさみ厚田村無煙浜まで、延長約20km、幅最大で1km(平均5~600m)に渡って連なり、カシワの海岸林としては日本最大規模。防風保安林として位置付けられている林の中は、クマイザ

サが厚く繁っているため、散策で訪れる人もなく、長い年月、人目にあまり触れることなく過ぎてきました。

カシワ林の宝石たち

人がなかなか立ち入れないカシワ林。しかし、この林は野鳥や小動物、昆虫たちの楽園になっているのです。ここで生活する生きものたちの中に、ルリ色や緑色の淡い光沢、白や黒の斑点、幾何学模様がならんだ翅をもつ宝石、「シジミチョウ」がいるのです。このカシワの林は「シジミチョウ」の宝庫。これらの中には稀少な種類も含まれます。

さて、次のページでは、カシワ林の宝石たちに魅了された一人、センター訪問者の柁木和洋さん(とんでん蝶類愛好会・札幌市屯田在住)から石狩浜のシジミチョウたちの紹介です。



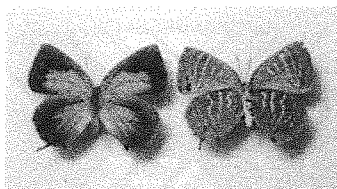
石狩浜のゼフィルス

日本には、ゼフィルスの愛称があるミドリシジミの仲間の蝶が25種類います。ゼフィルスとはギリシャ神話に登場する西風の神の意味です。年に1回、6月半ばからおよそ1ヶ月、森や林にそよ風(zephyr)のように現れる、小さいけれどそれぞれ個性的な美しさをもった蝶たちを表すのにぴったりの言葉です。

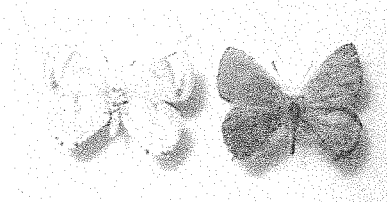
石狩浜は、とりわけゼフィルスが豊富に出現するわが国でも有数の場所です。これは、防風林である広大なカシワ林が、彼や彼女たちの安心して生活できる環境をずっと提供し続けているためです。

日本に産するゼフィルスのうち、ハヤシミドリシジミ、ウラジロミドリシジミ、キタアカシジミ、ミズイロオナガシジミ、ウスイロオナガシジミ、ダイセンシジミの6種が確実にここに生きています。ほかにも、2, 3種は住んでいる可能性があるし記録があるかもしれません。

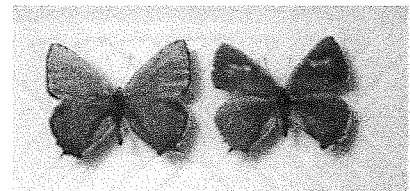
ゼフィルスの多くは、カシワ、コナラ、クヌギ、ブナ、マンサク、ヤマザクラなどの落葉広葉樹林や、西日本ではカシ類などの常緑樹林でその一生を過ごします。ゼフィルスは、種類によって定まった、一日のある頃合にいっせいに飛び出して活動しますが(だいたい朝か夕方、日中は葉陰でひっそり)、ずっと昔と違って「群をなして乱舞する」様は日本では今、あまり見られません。石狩浜の防風林は数少ない、その壮観を見ることができる場所のひとつなのです。このことは、貴重な自然資源として誇ってよいことです。



ダイセンミドリシジミ



ウラジロミドリシジミ



ハヤシミドリシジミ

また、ゼフィルスが豊かに暮らしているということは、とりもなおさずほかの昆虫や小動物にとっても好適な生息環境であることにほかなりません。蝶では、クロヒカゲやサトキマダラヒカゲが茂みのなかに、林縁ではキバネセセリやゴイシジミ、また防風林から海岸に至る草地にはキアゲハ、モンキチョウ、カバイロシジミ、ベニシジミ、ギンイチモンジセセリなどが姿を現すでしょうし、運がよければヒオドシチョウやルリタテハが日向で翅を休めているシーンに出会うこともあるでしょう。林に沿った砂地には真夏、ウスバカゲロウの幼虫がクロアリなどの獲物を辛抱強く待っている、いくつものすり鉢のような巣穴(蟻地獄)が観察されます。蟻といえば、灌木の間にこんもりと盛られたエゾアカヤマアリの巣。うっかり足を踏み入るとたちまち体を這い登ってきて、噛みつかれて痛い思いをすることもあります。

北海道の短い夏、浜辺を飾る花々と同じように限られた一時期を精一杯に生き抜こうとしている彼らの姿を垣間見ると、また興味深い新しい世界が広がってくるでしょう。

(とんでん蝶類愛好会 榎木和洋)

センターでは、榎木氏石狩浜で見られる蝶の標本を寄贈いただき、展示しています。

石狩浜の豊かな自然のシンボルでありながら、あまり目にする事のないカシワの林。海浜植物保護センターでは、もっと多くの人に見てもらおうと、このカシワ林が観察できるコースを年に数回、自然観察会に盛り込んでいます。

6月から7月の活動から

自然観察会

6月1日 10時から12時

コース：海岸草原 参加者22名

ハマエンドウ満開、ハマナスが咲き始めました。カシワの林では木々の花がちょうど見頃。第二砂丘の頂きからカシワ林の広がりや石狩湾、遠く暑寒別連峰が望まれました。



第二砂丘頂より浜一帯の風景を望む。

6月17日 9時から12時(市役所よりバス)

コース：はまなすの丘 参加者：29名

ハマナスが満開の石狩川河口を歩きました。浜一面ハマナスの香りが漂い今年ハマナスの花が豊作だ、との声が聞かれました。

6月25日 10時から12時

コース：はまなすの丘 参加者：20名

まだまだハマナス見頃。石狩川河口先端を回り、はまなすの丘を一周しましたが、それにしても暑い・・・観察会でした。

7月4日 10時から12時

コース：はまなすの丘 参加者：20名

ノハナショウブが満開。ハマボウフウの花もたくさん見られました。川沿いの高さ1mほどの侵食崖にショウドウツバメの巣を発見！！

7月14日 9時30分から12時

コース：海岸草原 参加者：18名

エゾカワラナデシコが満開の海岸草原を、カシワ林から海まで横断しながら歩きました。ハマナスの花もまだ残っていて、まさに原生花園！！一方、海に近い砂丘では、植生が車で踏みつぶされている様子も見られました。

こども自然教室

7月1日 9時から12時(市役所よりバス)

コース：はまなすの丘 参加者：32名

川岸から海へ、はまなすの丘を横断しました。海浜植物10種類をクイズ形式で探したり、砂浜の漂流物でアートを作ったりしました。ハマボウフウがたくさん咲いていました。



ヒントをたよりに浜辺の生きものクイズに挑戦！

●●8月から9月の石狩浜行事予定●●

自然観察会

8/26(日) 9時30分~12時 9/16(日) 9時30分~12時
集合：はまなすの丘ビジターセンター 集合：海浜植物保護センター
初秋のはまなすの丘を散策します。 秋が彩る海岸林~海岸草原を散策します。

こども自然教室

9/30(日) 10~12時
集合：海浜植物保護センター
石狩浜の自然のことを遊び感覚で学びます。定員40名

※いずれも詳細は下記までお問い合わせください。

行事への参加申込・お問合せ・通信に関するご意見等は、下記まで。

石狩浜海浜植物保護センター 〒061-3292 石狩市弁天町 48 番 1

tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146 email:hamanasu@guitar.ocn.ne.jp

石狩浜海浜植物保護センターホームページ URL : http://www4.ocn.ne.jp/~ishi-ham/